

Youth Development Instrument (YDI): 児童期から青年期への順調な移行を予測する

保護者の方へのお知らせと同意書

主任研究者: ハシナ・サムジ (Hasina Samji) 博士、Simon Fraser University Faculty of Health Sciences 助教授、BC 州疾病管理センター上級科学者、hsamji@sfu.ca

共同研究者:

マーティン・ガーン (Martin Guhn) Human Early Learning Partnership, University of British Columbia 准教授

キンバリー・ショーンナート - ライクル (Kimberly Schonert-Reichl) University of British Columbia 教育学部教授

資金提供元: Canadian Institutes of Health Research (CIHR) 及び Social Sciences and Humanities Research Council (SSHRC)

概要

- お子様の社会的・情緒的発達、身体的・精神的健康、児童期に体験した喜びや困難、幸福感についての調査が、お子様の学校で行われます。
- 保護者が、自分の子供はこの調査に参加しないと表明しない限り、お子様は調査に参加することになります。
- お子様は、全ての質問に答えても良いし、質問をとばしても良いし、いつでも途中でやめても良いです。
- この調査についての詳細は、<http://chartlab.ca/parent-guardian-resources/> をご覧ください。

保護者の皆様、

お子様の通う学校と、Simon Fraser University (SFU) の研究者、及び University of British Columbia (UBC) の Human Early Learning Partnership (HELP) の研究者から、Youth Development Instrument (YDI) 調査へのお子様のご参加をお願いいたします。YDI では、5つの領域についてお子様に質問をします。社会的・情緒的発達、社会的な幸福度、学習環境と学習への取り組み、身体的・精神的健康、周りの世界との関わり方です。お子様の社会的・情緒的な能力、社会的なつながりと学校生活、身体的・精神的健康、児童期に体験した喜びや困難、薬物の使用、コミュニティー活動への取り組み、食べ物と住まいが確保されているか、に関連した質問があります。

学校で対面授業を受けるお子様は、1月から3月の一コマの授業時間内にこの調査を受けていただきます。学校職員の見守る中、YDI にオンラインで回答していただきます。学校で対面授業を受けないお子様には、やり方をご説明し、学校外でオンラインで回答していただきます。この YDI プロジェクトは、お子様の学校区が主催します。Canadian Institutes of Health Research とカナダ Social Sciences and Humanities Research Council からの資金で運営します。

本プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、充実した学校生活や日常生活に結びつく、青少年の社会的・情緒的な発達、健康、幸福感などを、よりよく理解することです。こうして得た情報は、新型コロナウイルス感染症に関連した混乱など、青少年の健康や幸福感に影響する要素を理解するのに役立ちます。YDI は、学校や自宅や地域社会で自分たちの考えること、感じること、体験することについて、青少年た

ちが伝える機会を提供するものです。学校、行政機関、コミュニティーは、YDI から得た情報を用いて、子供たちへのサポートやサービスを向上させることができます。本調査で用いられる質問は、BC 州教育省の K-12 の教育カリキュラムに準じています。青少年が、個人としての力量や社会的な能力を育めるよう導き、「学校での精神衛生に係る戦略」にも則っています。

YDI は、教育者や学生をはじめとして、青少年の幸福度を高めるために尽力する関係者によって開発されました。YDI プロジェクトについて、または調査で用いられる質問についてのお問い合わせは ydi@sfu.ca までお願いいたします。

調査の進め方

通常の授業時間内に、オンラインで調査に答えていただきます。調査にあてる日は、学校が決め、学校の職員の立ち合いのもと、調査を行います。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが、お子様の感情や日常の活動にどう影響しているかについても質問します。青少年の発達や幸福感に、パンデミックがどう影響しているかを分析するためです。こうした質問も含め、YDI 上の質問はどれも、答えずにとばすこともできます。調査質問の中には、青少年の気持ちや人間関係について問うものもありますので、困っていることについては、助けを求められます。もしお子様が助けを求めてきたら、研究者が学校長に知らせます。それを受けて学校長は、学校の定める手順に従い確実にお子様に手が差し伸べられるようにします。

参加は任意で、同意は受け身です

YDI への参加は任意です。お子様自身が、調査に参加するかどうかを決められます。この調査に参加するかしないかで、お子様の成績が変わることはありません。学校からご家族が受けるサービスも変わることはありません。YDI に回答し終わってから、参加を取り消すこともできます。その場合には、研究者チームにご連絡ください。お子様が YDI に参加することに同意したとしても、研究に係る害がお子様及んだ際には、それに対して保護者が法手続きに訴えるという権利を放棄したとはみなされません。

お子様の YDI への参加を希望されない場合には、添付の不参加通知を、担任の先生または学校長に提出してください。この手紙を受け取ってから 2 週間以内をお願いします。または、YDI プロジェクトチームのアドレス ydi@sfu.ca にメールをして、参加しない旨をお伝えください。学校で対面授業を受ける生徒で調査に参加しない生徒は、通常授業に関連した学習活動を調査にあてられた時間に行います。本調査の参加については、受け身的な同意手続きを用いています。この手続きでは、お子様の不参加をその保護者が表明します。YDI はリスクが低く、学校や地域社会が青少年の幸福度を高めるに資する貴重なデータを提供するからです。

お子様の個人情報の保護

本調査へのお子様の回答は、**秘匿されます**。保護者の皆様にも、学校教職員にも、学校区職員にも、開示されることはありません。本プロジェクトで得られた情報が、お子様の就学記録に追加されることはありません。研究論文や公文書で YDI の情報が用いられる場合でも、お子様やお子様の通う学校が特定されることはありません。

SFU と HELP (UBC) に提供される情報

YDI への参加に際して、お子様の情報を、学校区が SFU に提供します。提供する情報は、お子様のお名前、教育個人番号 (PEN)、生年月日、性別、郵便番号、ファースト・ネーションかメティカイヌイトであるかなどの情報です。更に、障害または多彩な才能を持っているか、英語が母国語でないか、フランス語のイマージョン・プログラムに在籍しているかも、研究用・報告用に提供されます。こうした情報は、YDI データベース (「YDI レジストリ」) に保管され、他の健康・教育関連のデータセットと紐づけられることがあります。そうしたデータセットの例には、Early Development Instrument (EDI) と Middle Years Development Instrument (MDI) があり、お子様がこれらの調査にも参加した場合には、これらと紐づけられることがあります。この紐づけにより、青少年の健康と幸福の向上を生涯に渡ってより効果的にサポートするにはどうしたら良いか、理解が深まります。

YDI データの用途と保管

YDI の主任研究者が責任を持って、YDI プロジェクトデータ全てを安全に保管します。お子様の個人情報は、**連邦と州／準州の個人情報に関する法律の下、承認された紐づけ用と研究プロジェクト用にのみ使用されます**。適用法は、**連邦と州／準州の個人情報に関する法律**です。研究者は、研究や統計のために YDI で得られたデータを使用するにあたり、使用許可申請をします。許可が下りたら、個別の生徒に紐づけられることのないデータに、研究者はアクセスできます。

お子様のデータは、個人レベルで他のデータと紐づけられることがあります。子供たちの幸福感や健康や学業成就に影響する要因について知るためです。他のデータには、教育や健康に関する情報が含まれることがあります。紐づけられたデータからは、個人の特定ができません。つまり、氏名や生年月日など、個人の特定できる情報は削除されています。紐づけられたデータは、承認された研究合意書に基づいて、研究または統計目的でのみ、使用してよいことになっています。または、情報共有のための合意書に基づいて、プログラムの計画立案、評価、もしくは研究の目的でのみ、使用してよいことになっています。

プロジェクトの結果

学校単位と学区単位での報告書が、学校と学区に共有されます。学校単位での報告書は公にはされません。行政区単位と州単位での報告書は、公開されます。報告書からは、学校名や生徒の氏名など、個人の特典できる情報は削除されています。YDIの結果が、学校や生徒や授業のランク付けに使われることは一切ありません。個人の特典を不可能にした情報も含む YDI データは、刊行物やプレゼンテーションで発表されることがあります。

先住民族のデータと報告書

ファースト・ネーション、メティ、イヌイトのご家庭、コミュニティー、行政機関は、その子供たちについて得られたどんなデータにもアクセスする権利を持っていることを、YDI 研究者チームは認め尊重します。HELP の先住民族運営委員会（Aboriginal Steering Committee）のガイダンスを得て、YDI プロジェクトは、先住民族の子供たちのためのデータや報告書を用いて、ファースト・ネーション、メティ、イヌイトの行政機関と、先住民族の主導する団体をサポートするための要綱を定めました。この要綱により、先住民族の子供たちの発達を向上させることを目指して、先住民族が自決するのを支援するためにデータが活用されることになっています。YDI プロジェクトは、先住民族のパートナーの参加や承認無く、YDI データを先住民族の子供たちのために公表することはありませんし、比較のために YDI データを使用することはありません。

お子様の学校やコミュニティーにもたらされる恩恵

最近の研究では、子供たちの幸福感が、学業の成就や日常生活における満足感に影響することがわかっています。この調査に参加することで、子供たちは、自分の幸福感を形成する体験や感情を吐露する機会が得られます。YDI 調査報告書を手にする教育者や、プログラムの企画立案者や、コミュニティーのメンバーは、YDI 調査で直接汲み上げられた子供たちの声から、子供たちの生活に関する情報が得られます。

本プロジェクトの詳細情報

質問や懸念がございましたら、主任研究者のハシナ・サムジ博士（Dr. Hasina Samji）にご連絡ください。または、YDI チーム ydi@sfu.ca までご連絡ください。お子様の調査への参加を希望されない場合には、添付の不参加通知に署名をして、お子様の担任の先生または学校長に提出してください。あるいは、ydi@sfu.ca にメールを送って、不参加の旨をお伝えください。お子様の参加を希望される場合には、署名し提出するものは何もしません。

苦情や懸念

研究への参加者としての皆様の権利について、あるいは、参加中の体験について、懸念や苦情がございましたら、UBC 研究倫理オフィスの設置している「研究参加者苦情ライン」(Research Participant Complaint Line) 604-822-8598 まで電話ください。長距離電話の場合は、メール RSIL@ors.ubc.ca または通話料無料番号 1-877-822-8598 をご利用ください。

敬具

Name, School YDI Contact
Title within School
Telephone: #
E-mail:-----



Dr. Hasina Samji, PhD
Assistant Professor, Faculty of Health Sciences
Simon Fraser University
E-mail: hsamji@sfu.ca

✂-----✂-----✂

お子様の不参加を希望される場合には、このセクションに署名をして、お子様の担任の先生に提出してください。

お子様の不参加を希望される場合には、この不参加通知を[DATE]までにお子様の担任の先生に提出してください。

私の子供 [氏名] _____ が、[実施日]に実施される Youth Development Instrument (YDI)調査に参加することに同意しません。

保護者氏名 : _____ 日付 : _____

学校名 : _____ 担任名 : _____

✂-----✂-----✂